

東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故の 技術的知見について

参考資料

＜表Ⅲ－３－７＞
福島第一原子力発電所３号機の事象の進展

【事象進展のポイント】

- 直流電源が使用可能で、RCIC及びHPCIで水位を維持。
- ベント操作の作動用空気圧が足りず、ポンプを用いて対応したものの、ベントが十分維持できず、事象が進展。
- HPCIの作動時に原子炉圧力が低下しており、東電は流量調整により炉内の蒸気が継続して送られたためとしている。

日時	主要事象
3/11 14:47	地震発生 → 原子炉自動停止 → 外部電源喪失 → 非常用ディーゼル発電機起動
15:05	原子炉隔離時冷却系手動起動
15:42	津波襲来 → 海水冷却系の機能喪失 → 非常用ディーゼル発電機停止
3/12 11:36	原子炉隔離時冷却系停止
12:35	高圧炉心注水系自動起動
3/13 02:42	高圧炉心注水系停止
08:00頃	燃料露出(推定) → 炉心溶融開始(推定)
08:41 09:20頃	ベント操作 → 原子炉格納容器圧力低下
09:25	消防ポンプにより海水注入
3/14 11:01	原子炉建屋で水素爆発と思われる爆発

6時間43分間注水停止